



神奈川の風



平成27年12月24日号

校長 吉江 明洋

< さあ冬休み 良いお年をお迎え下さい >

明日12月25日(金)が今年の授業最終日。26日(土)から1・2年生はもちろんですが、3年生は進路への不安を抱えながらも、クリスマスの後には正月という心浮き立つ冬休みとなります。

小さな子どもの頃は、ただ浮かれていれば良かった年末年始でしたが、中学生の君達は新年を迎える前に今年をじっくりと振り返ることが大切な年齢になっています。今年はどうだったか、来年はどうしたいのかをしっかりと考えて、自分の夢や希望に向かって一歩ずつ着実に前進してほしいと願っています。そんな生徒には、将来きっと品物にはかえることのできない「幸せな人生」という最大級のプレゼントが必ず届けられるはずです。



さて、1995年に始まり年末恒例となっている日本漢字能力検定協会が公募する「今年の漢字」は、応募総数12万9,647票の中から、最多の5,632票だった「安」が選ばれ、15日(火)に、世界文化遺産の京都清水寺の舞台で森清範貫主の揮毫で発表されました。

今年は、安倍内閣での安保関連法案の採否をめぐる論議されたこと、世界各地で頻発するテロや、マンションの杭偽装が人々を不安にさせたことなどが理由となっているようです。

私にとっての「安」は、安全・安心など、良いイメージでしたが、不安の「安」として選ばれたことが残念な気がします。来年こそは、明るい話題での漢字が選ばれることを期待しつつ、本校は安全で安心な学校創りを目指したいと思います。

今年も多くの生徒が様々な場面で活躍してくれた一年であったと思いますが、生徒全員の心の豊かさや優しさという点ではまだまだ成長の余地を残していると思います。

今こそ私たち一人ひとりが、学校のため、地域のため、家族のため、そして自分のために「やるべきことは何か」を考えて行動するときだと思えます。来年も「全員を仲間と認める」「仲間と協力する」「仲間を大切に作る」そして「正しい意見が正しく通り、真面目にやっている生徒が嫌な思いをしない」学校創りを教職員一丸となつて、生徒と共に取り組んでいきたいと思っています。

保護者と地域の皆様のご協力のおかげで、今年も無事に終了することができました。この一年のご協力ご援助、本当にありがとうございました。心より感謝しお礼申し上げます。来年も引き続き、子どもたちが明るく夢と希望を持って充実した活動ができるよう本校に力と勇気を与えてくださいますようお願いいたします。

今年もマイペースで綴ってきた学校通信ですが、本年は、この113号が最終号となります。生徒やご家庭に役立っていることを祈りつつ、少し早いのですが『良いお年をお迎え下さい』。

<生徒の皆さん、健康に気をつけて1月7日(木)全員元気にお会いしましょう>

